

令和6年度静岡県建築行政マネジメント計画の検証結果（一覧表）

取組	実施主体	数値目標	検証結果
1 建築確認から検査までの建築規制の実効性の確保			
(1) 迅速かつ適確な建築確認審査の徹底			
①データベースを活用し、設計者の適格性を確認する ①「確認審査等に関する指針」に基づき適確な確認審査を実施する ②確認審査を円滑に進めるため、相談窓口における事前相談の充実を図る ③確認審査又は判定日数の進捗状況管理を行う ④「日本建築行政会議」や「静岡県建築行政連絡会議」において意見交換・情報の共有化を図り、より効率的な確認審査及び判定の実施に努める ⑤審査担当者の業務研修を実施するとともに、国土交通大学校等が主催する専門研修等への参加により審査技術の向上に努める ⑥基準法の改正等について、周知を図る	特定行政庁 特定行政庁、指定確認検査機関、指定構造計算適合性判定機関、登録建築物省エネルギー消費性能判定機関	—	確認審査所要期間 1~3号：6.4日 4号：1.6日
(2) 中間検査・完了検査の徹底	特定行政庁 特定行政庁、指定確認検査機関	完了検査率 100% 99.6%	完了検査率
①工事完了予定日又は中間検査予定日を経過しても検査申請のない物件に対して検査申請の督促を行う ②検査未受検物件に対して報告微収や立入検査を行う ③国等の関係機関に対し、建築物に関する各種の認定及び補助制度の申請において、検査済証の添付を条件化するよう求めている ④建築主等に対し、中間検査・完了検査の必要性等についてホームページ等で啓発を図る ①中間検査・完了検査に際して、適確で効率的な検査が実施できるようチェックシートを活用するとともに、検査時には工事監理者の立会いを求める			
(3) 工事監理業務の適正化とその徹底	特定行政庁 特定行政庁、指定確認検査機関	—	・建築行政共用データベースを活用し、工事監理者情報を確認した。 ・パンフレットの配布やホームページへの掲載により、建築主に対し工事監理の重要性を啓発した。 ・中間検査・完了検査時においてチェックシート等を活用し、適正に工事監理がなされたことを確認した。
(4) 仮使用認定制度の適確な運用	特定行政庁 特定行政庁、指定確認検査機関	—	・仮使用認定リストを活用し適正な審査に努めた。 ・静岡県建築行政連絡会議等を通して、相互に連携を図り仮使用における運用の整合性の確保に努めた。
(5) 建築確認申請等の電子化の推進	特定行政庁 指定確認検査機関	—	・電子申請受付体制の実現に向け更に検討を進めた。又は既に整っている。 ・電子報告体制が既に整っている。又は運用に向け検討を進めた。
2 指定確認検査機関・建築士事務所等への指導・監督の徹底			
(1) 指定確認検査機関等に対する指導・監督の徹底			
①知事指定の指定構造計算適合性判定機関に対して、年1回以上立入検査を実施する ②知事委任の指定構造計算適合性判定機関に対して、年1回以上立入検査を実施する ③特定行政による指定確認検査機関の立入検査における指摘事項について、静岡県建築行政連絡会議を通じて指定確認検査機関に周知する ①県内に事務所を置く国土交通大臣が指定する指定確認検査機関に対し、定期的に立入検査を実施する ②①の立入検査においては、確認申請書の抽出等により確認検査業務について詳細な実態調査を行なう ③指定確認検査機関あるいはその機関に所属する建築基準適合性判定資格者の業務に問題を認めた場合は、速やかに当該機関の指定権者に情報を提供する ④指定構造計算適合性判定機関の業務に問題を認めた場合は、速やかに県に情報を提供する	県 特定行政 県	—	・県及び特定行政は、指定確認検査機関等に対し、年1回以上の立入検査を実施した。 ・検査記録簿により確認検査業務を検査するとともに、電子申請における審査方法について詳細に聞き取った。
(2) 建築士・建築士事務所に対する指導・監督の徹底	県	—	・定期講習未受講者のいる建築士事務所、業務報告書未提出の建築士事務所に対して重点的に立入検査を実施した。 ・104者に対し立入検査を実施した。
3 違反建築物対策等の徹底			
(1) 違反建築物対策の徹底			
①不適切な業務を行なった建築士や建築士事務所に対し、建築士法に関するマニュアルに従い、事情聴取、査察及び処分等速やかな措置を講ずる ①工事監理者未定の現場や中間検査及び完了検査未申請の現場を中心に定期的なパトロールを実施して、基準法その他関係法令違反の防止に努める ②違反建築物防止週間を設定し、期間ごとに定める重点対象建築物を中心にパトロール及び立入検査を行う ③違反の未然防止、摘発及び是正等を適確かつ円滑に行えるように、消防、警察、福祉などの関係部局と協力体制を確立する ④マニュアルを活用し、違反建築物等の処理を適正かつ効率的に行う ⑤定期報告未提出建築物を中心に、計画的な調査や立入検査等を実施し、違反が発覚した場合は、違反建築物の実態を確実に把握した上で是正計画を作成し、計画的かつ速やかな是正指導を徹底する ⑥違反の是正完了に長期間要する場合は、是正完了まで計画的に継続した是正指導を行う	県 特定行政 県	—	・10/15~21を違反建築防止週間とし、工事監理者未定や完了検査等未申請の現場のパトロールを実施した。 ・違反建築物等に對し、「違反建築物等処理要領」に従い処理を実施した。 ・消防部局や福祉部局と連携し指導・連絡体制を確立している。特に県内の各消防本部と各特定行政の情報共有や連絡及び相談の場として設置された「静岡県消防本部・特定行政連絡会議」を実施した。
(2) 違法設置昇降機の安全対策の徹底			
①違法設置昇降機に関する情報の受付窓口を設置する ②労働基準監督署や労働局等と連携して違法設置昇降機に関する情報を収集し、情報を把握した場合には、所有者又は管理者からの事情聴取、立入検査により、違法設置昇降機の実態を把握する ③構造等に問題のある昇降機については、安全が確保されるまで使用を確実に停止させた上で、計画的な是正措置の実施を徹底する	特定行政	—	・関係機関と連携し、違法設置昇降機に関する情報を収集し、是正指導を実施した。

令和6年度静岡県建築行政マネジメント計画の検証結果（一覧表）

取組	実施主体	数値目標	検証結果
4 建築物及び建築設備の適切な維持保全を通じた安全性の確保			
(1) 定期報告制度の適確な運用による維持管理を通じた安全性の確保	特定行政府	—	<p>定期報告率 83.3%</p> <p>・R2から、報告済マーク制度を創設し、HP上で周知している。 ・建築確認台帳により新たに対象となる建築物等を把握し、定期報告台帳を更新した。 ・ダイレクトメール等で督促し、督促に応じない所有者等に対しては、計画的に現地指導等を実施する。 ・所有者等に対し、定期報告で把握した是正が必要な項目について、書面で通知すると共に、必要に応じて立入検査等を実施し、是正指導を徹底する。 ⑦報告状況のホームページでの公表や、報告済マークの交付など報告を促す手法について検討する ⑧法令により一律に定期調査・検査報告対象となった建築物等以外の建築物等の指定又は指定の取止めについて、地域の実情に応じて検討する ⑨防火設備検査の周知徹底を図る</p>
(2) 建築物に係るアスベスト対策の推進	県	—	
①静岡県アスベスト対策に係る連絡会議を活用するなど、市町と協力してアスベスト対策を実施する ①対象建築物の所有者等に対し、パンフレット及びホームページ等によりアスベスト対策及び補助制度のPRを行う。また、建築関係団体、各種業界団体等と連携し、アスベスト対策及び補助制度の周知を図る ②大規模民間建築物(1,000m以上)のフォローアップ調査を確実に行い、「未報告」及び「未対応」のものについては早期の対応を指導する。また、小規模民間建築物(1,000m未満)については、集会場、ホテル、飲食店など国指定の用途について優先的にデータベースの整備による実態把握に努め、改善指導、フォローアップ調査など、順次対策を推進する ③所有者等に対し、定期報告制度及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律による事前の届出制度を活用して、迅速なアスベスト対策や適正な処理について指導・助言を行う ④アスベスト対策における補助制度の創設、充実に努める ⑤アスベスト対策関係部局と連携して対策を進める	特定行政府	—	<p>・令和7年3月に静岡県アスベスト対策連絡会議を開催し、市町と情報共有を図った。 ・大規模建築物及び小規模建築物ともに、防災週間等においてフォローアップ調査を実施し、未報告者に対する督促や未対応施設のは正指導を行った</p>
(3) 既存建築ストックの安全性の向上と有効活用	特定行政府	—	・建築物防災週間ににおいて、立ち入り指導を実施した。
5 災害・事故発生時の対応			
(1) 事故対応	県	—	
①市町と協力し、事故発生時において関係機関と連携して情報収集を行う ①事故発生時において関係機関と連携して情報収集を行う。また、収集した事故情報を特定行政府間で共有し、類似事故の再発防止に努める ②立入検査の実施等、調査権限に基づく事故対応を徹底する	特定行政府	—	<p>・事故発生時に国交省、消防、市町、土木事務所と協力して情報収集・情報共有に努めた。</p>
(2) 災害対応	県	—	<p>・151名の新規判定士を養成した。 ・県及び全35市町において震前判定計画書を策定した。</p>
6 消費者への対応	県	—	
①基準法に関連する県内の都市計画情報等を積極的に公開する ①ホームページ・広報紙掲載・パンフレット配布等により、消費者に対して基準法及びその他関係法の各種手続や設計・工事監理の重要性、適正な契約締結の必要性を啓発する ②消費者の多様な相談に応対するため、民間の機関や団体等と連携して「静岡県建築・住宅相談ネットワーク」を形成する ③建築相談窓口や消費生活センター、あんしん建物相談室「ミーナ葵」等に寄せられる基準法関連のトラブルや消費者の建築行政に関する意見等の把握に努め、必要な情報提供を行う ④建築士法の規定に基づき（一社）静岡県建築士事務所協会が実施する「建築士事務所の業務に関する建築主等からの苦情の解決業務」を円滑化するため、必要に応じ同協会と連携を図る ⑤道路台帳の整備により基準法に係る道路情報を公開して、消費者の利便性の拡大を図る	特定行政府	—	<p>・道路情報等について、ホームページで公開している。未公開の特定行政府にあっては、公開に向けた準備をしている。 ・建築関連情報について、ホームページでの掲載や、窓口でのパンフレットの配架等により、広く情報を提供している。 ・空き家に対するワンストップ相談会及びマンション管理セミナーにおける相談会などの相談機会を設けている。 ・あんしん建物相談室「ミーナ葵」への相談件数や相談内容の報告を受け把握している。</p>
7 執行業務体制の整備			
(1) 内部組織の執行体制	特定行政府	—	
①業務量に見合った適切な執行体制の見直しを随時行う。具体的には、人員配置・業務の適切な配分、役割分担の明確化等の将来のビジョンを踏まえた体制の整備に努める ②その職務の執行の趣旨や目標を明確にし、職員が自己の業務目標を常に認識できる体制整備を行う。特に、長期的視点に立った有資格者や審査担当者等の人材育成については、常に組織として継続的に取り組む ③審査担当者の審査技術の向上を図るため、協力して研修等を実施する ①建築行政に携わる職員の人材育成に努める ②建築主事及び確認検査員の確保に努める	特定行政府、指定確認検査機関	—	<p>・将来的な人材確保を計画的に推進するため、建築職員を対象とした各種研修を県・市で協力して実施し、一級建築士や一級建築基準適合判定資格者等の資格取得を推進した。 ・OJT研修の実施により審査技術の向上を図った。 ・建築職員の計画的な採用や職員配置について、人事担当部局と調整を図った。 ・指定確認検査機関等にあっては、社内研修の充実や有資格者の採用に努めた。</p>
(2) 関係機関・関係団体との連携による執行体制の強化	特定行政府、指定確認検査機関	—	
①静岡県建築行政連絡会議において基準法その他関係法令の事例研究を行い、県内における統一的な運用を図っていく ①違反建築物対策について、消防、警察などの関係部局と連携して是正措置を講ずる。また、既存不適格建築物については、特殊建築物を中心に、消防など関係部局と連携して適正化に努める ②建築関係団体（建築士会、建築士事務所協会、建設業協会など）や宅地建物取引業関係団体（静岡県宅地建物取引業協会、毎日不動産協会静岡県支部）等と連携し、必要な情報を共有し、消費者や団体構成員への情報提供を行うとともに相談体制を確立する ③用途変更手続きが不要となった特殊建築物について、関係部局との連絡体制の整備、情報共有の推進等の連携を実施する	特定行政府	—	<p>・静岡県建築行政連絡会議において、統一運用を要する見解について会員相互で議論するとともに、電子化の推進等について情報収集した。 ・消防部局と連携し、違反建築物の未然防止とは正に取り組むとともに、その他関係部局についても必要に応じて協力を要請した。</p>
(3) データベースの整備・活用	特定行政府	—	<p>・共用データベースシステム内の建築関係法令情報を利用し、建築確認審査を効率的に行った。 ・台帳の電子化が完了している機関にあっては、証明書等の速やかな発行に努めた。未完了の機関にあっては、電子化への作業を進めている。</p>